

## ◇◇ 校長室より ◇◇

年々子ども達をとりまく環境は厳しくなっていますが、そのような時だからこそ少しでも夢をもってもらいたいと思っています。学校便りの中にコラムとして、「夢に向かって」のコーナーをつくり、その思いを少しでも伝えたいと考えました。その一部を紹介していきたいと思います。

### 夢に向かって

#### ～懐かしき良き思い出～

今から20年程前、私は武蔵中学校に勤務していました。当時はまだ旧校舎で、かなり老朽化した校舎でしたが生徒数は今の倍以上あり、勉強とスポーツに好成績を残していました。しかし、それ以上に心に残っているのが、校門に続くメタセコイヤの大並木につつまれた坂道で、中学生が全員毎朝ふり返って「おはようございます。」とあいさつをしてくれる姿に感動したことを覚えています。気持ちの良いあいさつは、生徒だけでなく職員のやる気も高めてくれます。武蔵西小学校も日本一元気なあいさつをめざしていきたいと思います。

### 夢に向かって

#### ～昔も今も 大事にしたいこと～

江戸時代の言葉で「三つの心、六つのしつけ、九つの言葉、文十二、理十五で未決まる」という言葉がありました。三歳までに心のあり方を教え、六歳までに立ち振る舞いを身につけ、九歳で挨拶が正しく言え、十二歳で手紙がきちんと書け、十五歳までに世の中の理屈が理解できる。それでその後の生き方が決まると言う意味のようです。すべてが今に当てはまるとは限りませんが、私たちが忘れかけていることを示唆してくれているような気がします。小学生の間に心の持ち方やあいさつ・そして文の書き方を身につけることは、とても大切と思います。



伝統の「蛇谷太鼓」の演奏



保護者・地域の方々との「餅つき大会」